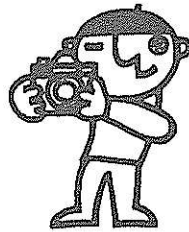


# カメラ レポート



## 敬老の秋 さまざまに



九月十五日を中心にして、市内二十個所で敬老を祝う行事が催され、五千三百五十名の方が祝福を受けました。各地区の社会福祉協議会が主催する敬老会には、多くの市民が参加。「戦前、戦後の困難な時代に社会のために尽力されたことに感謝と敬意をささげます。」との小笠原市長のメッセージが読み上げられ、市からの記念品のプレゼントや、趣向を凝らしたアトラクションなどに秋の一日を過ごしました。

高齢者保健福祉推進十九年戦略がいわれている今、国をあげて高齢者が生き甲斐を感じれる社会づくりが急がれます。



### 一世紀の時の証人として

九月十八日、岩崎収入役等が市内にすむ百才以上の長寿者を訪問。長寿を祝うとともにこれから元気で長生きしてくださいと励まし、掛布団などのプレゼントを手渡しました。

最高令は 百六歳の西川古牟さん（土佐清風園）。つぎに百一才の山本兎茂喜さん（後免町）。今年百才になった久尾徳寿さん（千市）、野口小菊さん（岡豊）、西岡梅さん（大堀）の五名の方。



散歩が日課の野口小菊さん

山本兎茂喜さんはクリスチャンで聖書の一節を色紙に書くのが楽しみ